

社会福祉法人尚徳福祉会 日野保育園 2021年12月

日に日に寒さが増し、冬らしさを感じられるようになってきました。子どもたちは、戸外でめいっぱい身体を動かし、 時にはひたいにうっすらと汗をかきながら遊んでいます。風邪や感染症が増える時期ですが、よく食べ・よく遊んで 元気に過ごし、楽しい年末年始を迎えられるようにしていきたいと思います。

来年も健康で、笑顔の溢れた素敵な一年となりますよう願っております。よいお年をお迎えください♪

11 日(土)はお楽しみ会です。保育園最後のお楽しみ会は「お父さんやお母さんに見てもらえるね♪」と大はりきりの子どもたちです。ひまわり組では歌・合奏と劇遊びを披露します。

- ◎歌:『そらまめにはそらがある』は子どもたちお気に入りの言葉遊びの歌です。絵パネルとともに歌と言葉の面白さをお楽しみください。『Let's go いいことあるさ』はこれから新しい世界に向かって飛び出していくひまわり組の応援ソングです。『友達とうまくいかないことがあったって大丈夫!!きっとわかりあえるから。だって仲間だもん!!』…遊びながら散歩しながら自然と口ずさむ一曲です♪
- ◎合奏:トトロでおなじみの『さんぽ』に合わせて、タンバリン・カスタネット・トライアングル・鈴・木琴・ハンドベルの6種類の楽器を使って合奏します。楽器遊びをする中で、いろいろな音の出し方を試してみたり、音の出る仕組みに気付いたり…それぞれ楽器の楽しさを感じてきました。お気に入りの楽器で、皆で心を一つにして演奏します♪
- ◎劇遊び:4月からいろいろな絵本を読んできたひまわり組。その中で『楽しいお話』『劇にしたら面白そうなお話』を選びました。『アリババと40人の盗賊』と『ヘンゼルとグレーテル』の2つまで絞り、それぞれの推しポイントをプレゼンする子どもたち。悩みに悩んだ結果…『アリババとヘンゼルとグレーテルの大冒険~ひまわりバージョン~』という、アリババを基にしたひまわり組オリジナルの物語で劇遊びをすることになりました。(詳しい内容は子どもたちとの約束で秘密☆です。)お楽しみに!!

日野中央高等支援学校で、地域の方と一緒においもほりをしました。「おいもの宝探しだ!!がんばるぞ~!!」と、学校へ向かう道のりから気合い十分な子どもたち。刈り取られたツルの、ちょこんと残った部分を頼りに一生懸命に掘っていました。大きなおいもが出てくる度に「やった一!!大物がでてきたー!!」と大喜び☆持ち帰ったおいもはスイートポテトやお芋ご飯など、いろいろな料理に変身したとのこと、嬉しそうに話してくれました。

そして、翌週には園舎横の畑で苗から育てたおいもを、すみれ組が収穫することになり、そのお手伝いをしました。「もう少し掘ったらでてくるよ」「いいお芋掘れたね!!良かったね」と声掛けをしたり、深い部分を掘るお手伝いをしたりしていました。苗から育て、葉を食べる虫を捕まえ、雑草抜きをして…半年間大切に育てたおいも。その収穫を喜ぶすみれ組の姿を、温かい眼差しで見るひまわり組の姿に、成長を感じた一場面でした。

☆みんなおんなじ『命』だね☆

11月2日の移動動物園では、羊やポニーなどの大きな動物から、うさぎ・モルモット・ひよこなどの小さな動物まで…たくさんの動物と触れ合いました。夏にカブト虫を飼育する中で『命』の大切さや儚さを学んだ子どもたち。動物達に優しく触れながら「おんなじ命だもんね!!」「生きてるからあったかいね」と話していました。たくさんの動物に触れ、間近で観察し、いろいろな発見に喜ぶ子どもたちでした☆